

7月のギャラリー“あと・いず”

三田村家漆芸3人 それぞれの表現

三田村 有純・雨龍・有芳

● 特別講演会「日本文化と漆」7月5日（日）14：30～15：15 [シルバーシティ石神井南館にて]



三田村 有純
MITAMURA Arisumi
日本藝術院会員
東京藝術大学名誉教授



三田村 雨龍
MITAMURA Uryu
二紀会準会員
三田村漆外匠・漆文匠主宰



三田村 有芳
MITAMURA Ariyoshi
日本現代工芸美術家協会会員
京都芸術大学准教授

◆ 三田村有純先生より

三田村家は江戸蒔絵の総帥赤塚派の流れを受け、有純で10代になる伝承家です。代々が技法を踏襲し、作風も型にはまった作品制作だけではなく、新たに自己の世界観を創造し、技法を生み出すなど創作的な展開をしています。
各世代が時代が変わる先を読み、芸術界に新たな新風を吹き込んでいます。
この度ご縁をいただき、有純が高校2年の時から60年住み、雨龍・有芳が生まれ育った武蔵野の地域で初めての3人展を開催することとなりました。
同じ漆芸分野でありながら全く違う作品世界の3人の共演を見ていただきたく思います。
三田村有純が3月に現存する漆芸作家としてはただ一人、日本芸術院会員として選出されました。七代赤塚自得は漆芸家として日本芸術院会員（1930年認定）の第1号であり、それから有純で10人目となります。

会期：令和8年7月1日（水）～31日（金） 10：00～18：00 シルバーシティ石神井南館1F
会期中は無休 但し、最終日は13：00まで
〒177-0052 東京都練馬区関町東1-16-14
TEL 03-5991-8151

7月ギャラリー特別講演会 「漆文化 守ること伝えることを未来へ」



日本藝術院会員・東京藝術大学名誉教授・漆芸家 **三田村 有純**

日本芸術院賞授賞式



日本藝術院会員・東京藝術大学名誉教授・漆芸家

三田村 有純